



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
 AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S
The Y's Men's Club of Kanazawa
 CHARTERED JULY 9, 1947
 c/o KANAZAWA YMCA 44-1-202 SATOMI-CHO KANAZAWA 920-0998

国際会長主題	「とにかくやろうー成せば成る」	“Audere est FacereーTo dare is to do”
アジア地域会長主題	「とにかくやろうー成せば成る」	“Audere est FacereーTo dare is to do”
西日本区理事主題	「ワイズの原点、愛と奉仕で社会に貢献」	”Contribute to the Community through Active Services with Love”
中部部長主題	「先ず一步 楽しもう、学ぼう、働こう、そしてつなげよう」	
金沢クラブ会長主題	「One for All, All for One with Y's Spirits」	

2012 6 月間強調 評価・計画

今月の聖句	6月強調月間								
<p>主はお答えになった。「マルタ、マルタ、あなたは多くのことに思い悩み、心を乱している。しかし、必要ことはただ一つだけである。マリアは良い方を選んだ。それを取り上げてはならない。」</p> <p style="text-align: right;">ルカによる福音書 10 章 41 節～42 節</p>	<p>今年度の目標はどこまでやれたか、楽しいクラブ活動や充実した奉仕活動が行えたか、会員増強は図れたか、評価と反省をしっかりと次に繋げよう。</p> <p style="text-align: right;">浅岡徹夫理事 (近江八幡クラブ)</p>								
<p style="text-align: center;">6月例会 プログラム</p> <p>とき 2012年6月21日 (Thu.) 18:30～20:30</p> <p>ところ 金沢ニューグランドホテル</p> <p>会費 ¥3,000(会員不要) ¥2,000 (メット)</p> <p style="text-align: right;">司会 澁谷洋太郎君</p> <p>開会・点鐘 幸正一誠会長</p> <p>主 題 司 会 者</p> <p>ワイズ・ソング 一 同</p> <p>今月の聖句 司 会 者</p> <p>ハッピー・ハーステイ 幸正一誠会長</p> <p>ゲスト紹介</p> <p>食前の感謝 山本達也君</p> <p style="text-align: center;">~~~~~ 会 食 ~~~~~</p> <p>スピーチ 1年を振り返って</p> <p style="text-align: right;">幸正一誠会長</p> <p>委員会報告 各 委 員</p> <p>ニコニコタイム 西尾一朗君</p> <p>Y M C A の 歌 一 同</p> <p>閉会・点鐘 幸正一誠会長</p>	<p style="text-align: center;">5月 クラブ活動状況</p> <p>第1例会 (5月17日 Thu.)</p> <p>メ ン：伊藤、影山、数澤、高口、幸正、澁谷、西尾、山内、山本 (9名)</p> <p>出席率：90%</p> <p>メネット：伊藤、数澤、澁谷、山内 (4名)</p> <p>コメント：西尾和晴君</p> <p>ゲスト：村田静夫氏</p> <p>第2例会 (5月1日 Tue.)</p> <p>メ ン：伊藤、数澤、幸正、澁谷、山内 (5名)</p> <p>メネット：数澤、山内 (2名)</p> <p>ニコニコタイム 11,000円</p> <p>クラブファンド 累計 131,100円</p> <p>B F ポイント</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>切手</td> <td>0 kg</td> <td>累計</td> <td>0 kg</td> </tr> <tr> <td>現金</td> <td>0 円</td> <td>累計</td> <td>15,000 円</td> </tr> </table>	切手	0 kg	累計	0 kg	現金	0 円	累計	15,000 円
切手	0 kg	累計	0 kg						
現金	0 円	累計	15,000 円						
<p>会 長 幸正一誠 書記 山内健司</p> <p>副会長 澁谷洋太郎 会計 高口昇</p> <p>直前会長 数澤輝夫 ネット会長 数澤淑子</p>	<p>第一例会：毎月第三木曜日 18:30～20:30 金沢ニューグランドホテル Tel (076)233-1311</p> <p>第二例会：毎月1日 18:30～20:00 金沢ニューグランドホテル 2F (トレド)</p>								

『ワイズ海』大航海を終えて

幸正 一誠

ワイズ歴 4 年程の未熟者に、『ワイズ海』なる大海原への航海を任された金沢クラブの皆様はさぞ、「天気晴朗なれど波高し」の乗り心地で不安な船旅の一年であった事と思います。船首フラッグには「One for All, All for One with Y's Spirits」の船長（会長）主題を、船尾フラッグには「ワイズライフを楽しもう」の航海（活動）方針を掲げ各地への寄航（例会）を無事終えようとしています。その影には、これまでの航海で片目の海賊ジャックと百戦錬磨の戦を勝ち得た、腕っ節太き大先輩船長の頼もしいご指導と、ご乗船のワイズメン・メネット各位の御支援と我慢の賜物と深く感謝申し上げます。この一年間の船旅を終えるに際し『ワイズ海大航海図』を広げ見れば、船首に掲げしフラッグワードについては 奇しくも山内ワイズが体調を崩され、各地の寄航（滋賀蒲生等）に際し乗船者全員で支援をし、楽しい航海が続けられ、達成出来たと考えます。船尾フラッグワードの評価は船内ディナールームでの食事中に、或は、睦月に寄港した United States of YAMAMOTO 迎賓館でのランチパーティー等にて皆さんから「楽しい&笑い」の話題が多く有り、毎回笑いに満ちた楽しい食事となり、まずまずと思います。反省として、毎月更新される海図（ブリテン）を読み解きそこからの話題提供は少なかったかな？ 次回航海時には、海図作成者のワン・コメントを頂くようにしましょう！！

航海出発時、乗船者は 15 名（ワイズ 9 名・メネット 6 名）であり各寄航港にて新しい乗船者をお迎えしましたが生憎お客様は無く、客室に空きがある状態でした。船長としてワイズ航路の「楽しい〜」船旅の PR 不足を反省致しております。次期は各港にて、この豪華（？）客船に試乗して頂くべきく、PR 活動を一人一人が必ず致しましょう。航海図を増版し PR ツールとして配布しましょう。

来期は又、私が船長として皆様を大海原へご案内をさせていただきます。船首フラッグには「より楽しく・より豊かに 伝えようワイズワールド」を掲げます。次期航海日誌には乗船者が港毎に一人、又一人と増えて「より楽しく・より豊かに」のワイズ航海の日々が綴られるよう、乗船して頂く皆様のご支援を御願い致します。それでは、みなさん大きな声で【ようそろ〜】



「金沢トリオの京都ツアー報告記」

京都ウエストラブ 草野 功一

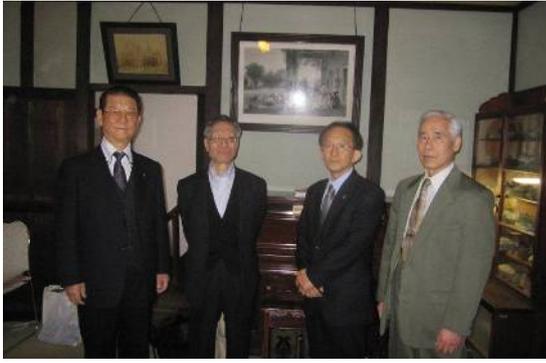
4 月 22 日午前、サンダーバード号乗車の幸正会長、数澤・伊藤メンは、予定どおり京都駅に到着、麻呂が懐かしく出迎えた。

早速、平安建都 1,200 年記念事業の一環として平成 9 年に竣工した第 4 代目京都駅（ビル）の穴場巡りとして、「チャペル」を経て「空中経路」（10 階）に上がり、向（北）側京都タワーの高さはなぜ 131m なのか、そのモチーフは「ろうそく」か「灯台」か？ など、得々とガイドを始めた途端、最年少者である筈の「高所」会長の意外なウイークポイントを知る事となった。しかし、ビル 11 階の蕎麦処で、おそろおそろ早目の昼食を済ませて、雨男は誰だ？ と愚痴を言いつつ、地上のタクシー乗り場に並ぶころには、アルコールが入っていないにもかかわらず、持ち前の滑らかな弁舌に戻っていた。



最初に乗りに付けたところは、京都御苑（御所）東の寺町通りに面し、折良く一般公開中の、「新島旧邸」である。同邸は、安中藩主板倉家の江戸屋敷で生まれ、建学に燃える新島襄が京都の地でキリスト教主義教育を目指した同志社英学校（のちの同志社大学）を開校した場所であり、英学校が今出川に移った後は、来年の NHK 大河ドラマ「八重の桜」で主人公として登場する妻・八重とともに暮らした私邸である。明治初期建築の寄せ棟造木造 2 階建住宅であり、1、2 階ともバルコニーが 3 方に設けられ、白壁とベンガラ色の柱や大きな扉、窓が印象的な、和風の造りを基本にしつつ、洋風の要素を取り入れた貴重な建築物である。数澤メンは、持ち前の旺盛な探究心と名カメラマン振りを発揮し、同志社ボーイ（同やん）に憧れていたという職人気質の伊藤メンは、和風家具等の調度品にうんちくを傾けられた。

次いで、京都御苑北側に位置し、前記同志社英学校の移転先で、薩摩藩邸跡地でもある現同志社大学の今



出川キャンパスに入り、構内の文化財（近代建築物）巡りをした。彰栄館～礼拝堂・チャペル～有終館～ハリス理化学館～クラーク記念館（以上は、いずれも重要文化財である）～YMCAゆかりW・M・ヴォーリズ設計のアーモスト館&啓明館というキャンパス・ウォーキング・コースは、新島襄が学生に宛てた手紙の一節を自筆で刻んだ「良心之碑」を締めとして、今出川通りの正門を後にした。

同志社大学から、途中、江戸時代初期に角倉了以が鴨川から引水して開削した「高瀬川」運河の源流である「一之船入跡」に立ち寄って、本日の会場であり、長州藩邸跡に建てられた京都ホテルオークラのクロークに荷物を預けて、コーヒー&ビア・ブレイクをとった。

暫しの休養後、ホテル前に立つ「桂小五郎（木戸孝允）像」→ホテル南向かい高瀬川沿いの「加賀藩邸跡」→織田信長供養塔のある「本能寺」→洋・和風混合装飾の「京都市役所本館」、そして京都ホテルオークラと、効率の良いスクエア回りの史跡見物により、ツアーは無事終了した。例会場でも、麻呂と隣接のテーブルに陣取ったトリオの皆さんは、雨中の強行軍にもめげず、元気に京都パレスの40+1周年を祝い、西日本区大会での再会を誓い合って、別れを惜しんだのであります。

【5月例会報告】

5月は村田静夫氏によるスピーチが行われました。氏は、現役時代、村田製作所の台湾社長として、長く台湾で生活され、台湾の事情に明るい方でした。当日の参加者の中でも、台湾に行ったことのある人は少なく、われわれにとって台湾は近くて遠い国です。台湾の人口、地理、地勢、気候、政治・経済、国際関係、社会情勢、そして歴史に及ぶ大変細かく詳しく、解説されました。

台湾とトルコは、日本の過去の援助に対して、大変感謝しており、今もなおその気持ちを持ち続けていてくれており、親日的であるとのこと。

氏は、日台間交流への願いを強く持っておられ、日本と台湾は“近くて縁深く親しみ深い国”であるという。また、金沢市は

- 1) 民主的で平和を希求する国同士で、価値観を同じくする。
 - 2) 経済、貿易の深い相互依存。
 - 3) 歴史上、文化的つながりが密接。
 - 4) アジア相互交流での地勢上の要点
- を背景に、“日台交流深化の先導地域となることを期待しておられるということでした。

（文責 山内 健司）



~~~~~ お知らせ ~~~~~

☆滋賀蒲生野・金沢クラブ合同例会

5月3、4日 ホテル ニューオオミで開かれ、伊藤、数澤、幸正、澁谷、山内が出席しました。

☆西日本区大会

日 時 6月9日(土)～10日(日)
場 所 滋賀県立文化産業交流会館
長浜ロイヤルホテル

登録費 17,000円

出席予定 伊藤、数澤、幸正、澁谷、山内

☆第70回国際大会

日時：8月2日(木)～5日(日)
場所：ノルウェー(スタバンゲル)
参加予定：澁谷、

☆日程変更について

金沢クラブの第2例会は都合により、7月は2日(月)に変更します。

~~~~~ YMCA のお知らせ ~~~~~

☆早天祈祷会

日 時 2012年 7月1日(日) 6:00～7:00
場 所 金沢YMCA集会室

☆2012年度 金沢YMCA定期会員総会

2012年5月29日北陸学院大学ライザー館で富山YMCA 総主事松田誠一氏を迎えて開催された。初めに朝倉秀之総会議長の開会宣言、次に開会礼拝を司会者澁谷洋太郎氏により行われた。続いて金沢YMCA朝倉秀之常務委員長及び富山YMCA 松田誠一総主事のあいさつ、議事として2011年度事業報告及び決算報告並びに監査報告が行われ、これを原案通り承認した。次に2013年度事業方針・計画及び予算の審議では種々議論の結果、これを承認した。今後、財団法人より公益法人への移行についての話し合いが行われた。当日の出席者は15名。金沢クラ

ブから伊藤、影山、数澤、幸正、澁谷の5名が参加した。

Happy Birthday

メン	伊藤 仁信君	6月 3日
	高口 昇君	6月 11日
ネット	影山フミエさん	6月 15日

7月の担当

ブリテン執筆： 幸正 一誠君
数澤 淑子さん

卓話担当： 幸正 一誠君

原稿は6月25日までに山内までお願いします。

メ ネット 報

ドイツからの留学生に会って

山本 典子

連休明けに主人の兄から電話があり、兄の友人の娘さんのお友達がドイツの方と結婚なさり、ドイツに住んでいますが、その娘さんが金沢大学に短期留学できているのですが、友達もできず知り合いもあまりいなく寂しくしているらしいとのことでした。日本語会話はできるが漢字が読めないとのことでした。連絡をもらって、かわいそうに思いすぐに彼女のメールにて連絡を取り、至急会うことにいたしました。市内のデパートの前で待ち合わせです。現れた彼女は、色白で身長も私たちと変わりなく、細身の体型でドイツ人というよりも少し日本的な顔立ちのテレビに出ているようなかわいい女性でした。

3月から金沢に来ているのに金沢名所に行ったこともなく、学校とマンションの往復といった生活をしているだけのようでした。先ず驚いたのはルームシェアで、年上の独身男性のマンションに1部屋借りていることでした。それもお母様が、日本に来て契約して行かれたそうです。私に娘がいたら契約はしないと思ったのですが、考え方が私たちと違うと考えさせられました。お母様は日本人ですが高校からアメリカに留学し、ずっと外国生活で、考え方も外国的だと思いました。夕食を誘ったのですが、ものすごくすき嫌が多く生ものや野菜はほとんど食べないと言われました。ドイツでは夫婦共働きが一般的で、父方の祖母に育てられ食事はもちろんドイツ料理だけで、日本食は食べたことがなかったそうです。寿司や刺身

はもちろん食べられず、すき焼きやてんぷらといった有名な日本食も知らなかったのです。私は夕食の献立を急遽変更しスペアリブを作ることにし、一緒に買い物に行きました。野菜は食べないけれど果物は大好きといていたのでイチゴをたくさん買いました。夕食には、ドイツに何回も行ったことのある友人親子(母、娘)を招待していました。友人が造ってくれたサーモン野菜サラダは、サーモンだけは食べられたようです。ドイツでの食事はお肉とジャガイモとキャベツのザワークラウトが主体でパンとパスタと果物がつけ加わるようです。笑い話のようですが、彼女が金沢に来てすぐにジャーマンベーカリーという名前のパン屋を見つけ喜んで入ったところ、ドイツのパンとは異なるものだったので驚いたと言っていました。今せつかく日本に来ているので、もう少し日本食に興味を持ってくれたらうれしいねと後で友人親子と話をしました。

すごくよかったと思ったのは、彼女が学校のクラブで茶道クラブに入ってお茶を習っている事です。少しでも日本の伝統に触れて帰ってもらえたらいいなと思いました。

残念なことは、大学では日本の学生さんは彼女が日本語で話しかけてもシャイなのか、あまり話そうとはしないそうです。

日本の若者ももっと社交的であってほしいと思います。彼女は8月にはドイツに帰ってしまいますがそれまで少しでも金沢に親んでもらえるように何かしてあげることができればうれしいとみんなで話し合っていました。

